

令和5年度 学校評価 年度末評価（学校関係者評価）

学校名	北秋田市立 鷹巣中	学校	学校運営協議会	令和6年1月30日
校長名	小林 秀雄	開催日		
学校教育目標	心豊かな、創意に富んだ、たくましい生徒の育成			
項目	1 活性化のための取組			
学校の取組概要	<p>人、物、ことととかかわり、地域や学校にプライドをもつ</p> <p>1 キャリア教育 ・計画的な進路指導 ・系統的な進路指導</p> <p>2 ふるさと教育 ・伝統を知り、守り、共に行う ・地域を知り、伝える活動</p> <p>3 学校・家庭・地域、関係機関との連携・協働 ・保護者・地域への情報発信と交流 ・地域の教育力の活用</p>	自己評価		
		中間	年末	
		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	
学校運営協議会の意見等	<p>・入学式、卒業式等、保護者が参観できるものが増えてきて、よかったと感じている。体育祭も雨天ではあったが、見る事ができてよかったという保護者の声が聞こえてきている。今後も、更にこのような活動を実施したい。</p> <p>・ボランティアについて、地域で声をかけて行っているものもある。地域の人は、非常に喜んでいいる。大人が中学生に元気をもらっている。</p>		関係者評価	
			4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	
次年度の施策	<p>・予定どおり、2名の大学生と16事業所の方をお招きして校内ハローワークを行い、個々の生徒が自分のこれからの生き方について学びを深めた。3年生は高校進学に向けて、目標を明確にして取り組んでいる。次年度のキャリア教育計画の作成に向けて、コロナ禍でできなかった様々な活動を見直し、体験活動や取組内容の精査をしていきたい。</p> <p>・地域を知り、地域に愛着をもたせるために、様々なボランティア活動を生徒に紹介し、手挙げて参加してきた。今後も関係諸団体と連携を図りながら、ボランティアの幅を広げるとともに、地域に愛着をもてるような活動を更に拡大していきたい。総合的な学習の時間の探究活動については、各学年のテーマを工夫して、系統的なつながりができるようにしていく。</p> <p>・家庭科では夏休み前に地域の方から浴衣の着付けについて指導していただいた。冬には数年ぶりに保育園の訪問が実施できた。授業における地域人材（本校卒業の高校生・大学生を含む）の活用による教育の拡充に取り組んでいきたい。</p>			
項目	2 知 育			
学校の取組概要	<p>主体的に学び、学び合いを通して互いに深め合う</p> <p>1 自律した学習習慣を基に、基礎的・基本的な学力の定着 ・基本的な学習習慣の形成 ・自主的な学習習慣の形成 ・個に応じた指導の工夫</p> <p>2 主体的に課題を捉え、共に共に学びを深めて解決 ・対話的な学びの工夫 ・深い学びの工夫</p>	自己評価		
		中間	年末	
		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	
学校運営協議会の意見等	<p>・ノートに書くことはしているのか。タブレットばかり使用すると、書くことは衰えないのか。個人個人でタブレットの得意・不得意があるのではないか。その点への対応はどうであろうか。</p> <p>・3人のALTのうち、1人は常に鷹中にいるが、残りの2人は鷹小、綴子にも勤務している。発音については、ALTの効果を感じる。</p> <p>・B日課の設定は、授業時数確保のためだろうか。</p> <p>・タブレットがスムーズに動いていて感心している。環境整備により、ネットワーク環境も改善している。</p> <p>・小学校で行動が心配された生徒が、考えられない程に成長していた。立派な中学生として生活をしており、非常に感慨深いものがあった。これは中学校がしっかりしているからであり、継続してほしい。</p> <p>・授業では、リレー発表があったが、これを安易に使うケースもあるため、必要性を十分に考えてほしい。また、自己有用感を育むことが重要であるが、普段の生活だけでなく授業の中での自己有用感の育成も大切であり、この点も意識してほしい。</p> <p>・授業の雰囲気が非常によいと感じた。</p>		関係者評価	
			4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	
次年度の施策	<p>・基本的な学習習慣の形成については、生徒会の学習委員会が「3分前着席」「姿勢」「集中力・反応」の観点で授業者にチェックを受けて全校で競い合ったり、テスト週間の学習時間を競い合ったりして、生徒と教員による取組が行われている。個々の生徒の特質もあることから、TTなどにより粘り強く指導を繰り返している。また、タブレットを用いたスマイルドリルの活用により、個に応じた問題選択や取組ができるようになってきた。</p> <p>・一人一人の考えを可視化・操作化するためにICTを活用しながら、互いの考えを交流し、対話しながら学びを深めるように工夫している。ねらいを明確に示して自分の考えをもたせること、思考ツールを用いて個々の考えをペア・グループで検討したり、全体で深めたりすることに力を入れながら、よりよい授業を目指していきたい。</p>			

項目		3 徳 育	
学校の取組概要	<p>自律の精神を重んじるとともに、相手と心を通わせる</p> <p>1 学級活動・学校行事を通した鷹中プライドの醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感を高める環境づくり</li> <li>・自他の理解を深める集団づくり</li> </ul> <p>2 意見を交流する生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創意を生かした生徒会活動</li> <li>・友や地域を元気にする活動</li> </ul> <p>3 道徳性を育てる実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業と振り返りの工夫</li> </ul>	自己評価	
		中間	年末
		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
学校運営協議会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が家では中学校のうちは子どもに持たせず、高校入学後に持たせることにしている。子どもはスマートフォンやタブレットに慣れており操作が非常に速い。ただし視力に関しては心配な面がある。</li> <li>・100キロマラソンで、荷物の引き渡し場所で手伝う中学生を見た。また合唱祭でも、よい歌声、心から喜び讃え合う姿があり、とてもよかった。</li> <li>・伝統という意味では、とてもよいものがあると感じている。それぞれの学年が、先輩の姿を見て活動している。</li> <li>・ボランティアについては、やはり進んで参加する生徒が一番よい。南中時代は、声掛けをし、来てくれた生徒をもてなすことで、ボランティアが継続されるようにしていた。伊勢堂岱遺跡については、毎年ボランティアガイドに参加する生徒がおり、大変感謝している。</li> </ul>	関係者評価	
		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	
次年度の施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年主任のリーダーシップの下、学級担任と学級委員等が相談しながら学級づくりを進め、自己有用感の向上に取り組んできた。また、合唱祭・鷹中祭では、それぞれの生徒が自分の持ち味を発揮して周りから認められることにつながった。また、3年生が全校をリードして練習などを進める場面が多く見られ、特に合唱祭での3年生の演奏は、1・2年生の目標となるものだった。鷹中プライドの醸成につながる取組だった。</li> <li>・昨年度よりも早い時期に生徒会役員選挙を行い、引継ぎをしている。1・2年生に責任ややりがいをもたせて進めていきたい。自分たちで考え、判断し、実行できる「自律した生徒」の育成を目指している。ボランティア活動については地域や団体等からの依頼を生徒会を通じて生徒に紹介し、自分の希望する活動に参加するスタイルを継続して試行していきたい。</li> <li>・道徳の授業がどの学級でも確かに行われ、感じたことや考えたことが道徳的判断の基となり、それが日常における実践につながるように見取り、大切にしていける。また、学校行事等の感想を掲示することで教科等横断的な道徳教育を進めるとともに、学級色の見える「道徳コーナー」の充実を図っていきたい。</li> </ul>		
項目		4 体育・健康教育	
学校の取組概要	<p>凡事徹底により鷹中プライドを育み、心身の変化や成長を認め合う</p> <p>1 心の健康の保持増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な生活の推進</li> <li>・教育相談、諸調査・アンケートの活用</li> </ul> <p>2 自律による体の健康と増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい生活習慣の形成</li> <li>・継続的な体力づくりの実践</li> </ul> <p>3 危機管理・不祥事防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して学べる校内外の環境の整備</li> <li>・研修の継続実施</li> </ul> <p>4 教職員の心身の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間の適正化</li> <li>・休養日の確保</li> </ul>	自己評価	
		中間	年末
		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
学校運営協議会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の勤務実態について、依然として大変に苦労されているようだ。これについては、ここで話してもどうしようもないところもあるが、みんなが意識をしていかなければならぬ。</li> <li>・部活動の地域連携・地域移行に伴い、指導者の確保に向けた財源の確保を進めなければならず、いろいろな面から、その問題に向き合わなければならない。</li> <li>・熊対応により、勤務時間への影響が出ていたように思う。冬眠できない熊もいるようで、心配である。</li> </ul>	関係者評価	
		④ ・ 3 ・ 2 ・ 1	
次年度の施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹中プライドの下、後期は学校生活においても自律を意識させるとともに、自分で自分の行動を見つめる意識を育みながら全校生徒の安全・安心を確保してきた。また、生活ノートや自学ノートを通じて学級担任等と生徒が交流する中で悩みを把握し、さわやかぬくもり委員会やスクールカウンセラーの相談活動を充実させていく。いじめや体罰が発生しないよう、放課後の活動時間についてもチームで安全を見届けを継続する。</li> <li>・後期は、家庭で過ごす時間が増え、ゲームやスマホ等による生活習慣の乱れが心配されることから、親子学習会で取り上げたり、集会等で指導したりしてきた。今後も、学校へのスマホの持ち込みやSNSへの画像等のアップには細心の注意を払っていく。</li> <li>・元旦に能登半島地震があったことを基に、防災の意識を高めるとともに、もしもに備えて積雪時における避難経路の確保等に努める。また、交通事故防止、ゲーム利用・ネット利用などによる健康被害・犯罪加害被害のないように現場観察や情報収集に努める。教職員については職員会議に併せて様々な研修や資料配付を行う。新型コロナやインフルエンザについても対策を講じながら、生徒の安心・安全に努める。</li> <li>・日課表の改訂や部活動分担表の意味を浸透させ、互いの働き方改革の意識を醸成し、高めるようにする。また、部活動については、親の会と連携を取りながら、冬季の活動時間の約束を守ることを継続していきたい。地域移行については連絡協議会を通じて検討を重ねていく。</li> </ul>		

\*評価は、4段階（4：十分達成できている 3：達成できている 2：少し不十分である 1：不十分である）